

甲府市地球温暖化対策実行計画  
(区域施策編)  
平成29年度年次報告書

平成31年2月

甲 府 市

# 目次

## 第1章 甲府市地球温暖化対策実行計画について

1	実行計画の目的	1
2	実行計画の位置づけ	1
3	実行計画の計画期間	1
4	目標年次と削減目標	1
5	対象とする温室効果ガスの種類	1
6	対象とする部門	2
7	重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）	2
8	関係者の役割	3

## 第2章 2017（平成29）年度の施策の実施状況

1	重点プロジェクト（6つのアクションプラン）進捗状況	4
2	重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）取り組み状況	12

## 第3章 施策の検証

1	実行計画の推進体制	37
2	甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会からの意見	38

### 【資料】

(1)	甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会委員名簿	40
(2)	平成28年度からの重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）	41

## 第1章 甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

### 1 実行計画の目的

- 「甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（以下「実行計画」という。）は、平成20年6月に一部改正された「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、区域の自然的社会的条件に応じて温室効果ガスの排出の抑制等を行うための施策に関する事項を定めたものです。
- 市民、事業者、行政等の多様な主体の参加・連携により、地域特性に応じた地球温暖化対策の取り組みを推進し、まちづくりの基本目標の一つである「自然と都市機能が調和する快適なまちをつくる（環境）」〈第六次甲府市総合計画〉の実現を目指すとともに、地球温暖化対策及び省エネルギー対策に貢献することを目的としています。

### 2 実行計画の位置づけ

- 実行計画は、平成18年度に策定された「新甲府市地球温暖化対策推進計画」を引き継ぐとともに、策定にあたっては本市の総合的かつ計画的な行政運営の指針である「第六次甲府市総合計画」のもと、本市の環境に配慮した施策を展開していくうえで最も基本となる「第二次甲府市環境基本計画」を上位計画とし、都市整備に関わる施策の体系的指針である「甲府市都市計画マスタープラン」等の関係計画や関係施策との連携を図っています。

### 3 実行計画の計画期間

- 実行計画の計画期間は、中期2030（平成42）年度\*、長期2050（平成62）年度であり、基準年については、2008（平成20）年度としています。

### 4 目標年次と削減目標

- 実行計画の温室効果ガスの排出削減目標は、基準年の2008（平成20）年度比で  
中期目標は、2030（平成42）年度までに、25%削減\*  
長期目標は、2050（平成62）年度までに、80%削減  
としています。

### 5 対象とする温室効果ガスの種類

- 対象となっている温室効果ガスは、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）、メタン（CH<sub>4</sub>）、一酸化二窒素（N<sub>2</sub>O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）、パーフルオロカーボン（PFC）、六フッ化硫黄（SF<sub>6</sub>）です。

※ 「3 実行計画の計画期間」及び「4 目標年次と削減目標」の中期目標について、策定当初は『2020（平成32）年度』に設定していました。

## 6 対象とする部門

- エネルギー起源の温室効果ガスについては、国のエネルギー消費の統計上の分類に合わせて、「産業部門」、「民生家庭部門」、「民生業務部門（民間）」、「民生業務部門（公共）」、「運輸部門」としています。
- 非エネルギー起源の温室効果ガスについては、「工業プロセス分野」、「廃棄物分野」、「農業分野」、「代替フロン等3ガス部門」としています。

## 7 重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）

- ・ 6つのアクションプラン

「2050年の甲府市の姿」と長期目標を念頭におきつつ、2030（H42）年度の中期目標の実現に向けた本市の重点的な取り組み（重点プロジェクト）として、温暖化の原因である温室効果ガスの排出を抑制する「6つのアクションプラン」に取り組めます。

- ・ 適応策（P34参照）

6つのアクションプランに取り組んでも温暖化の影響が避けられない場合への対策に取り組めます。

※本実行計画は、東日本大震災直後に策定されたことから、震災以降の社会情勢等の変化を踏まえ、平成27年度に計画の全体的な見直しを行いました。

### 気候変動適応法案の閣議決定について（平成30年2月）

近年、気温の上昇、大雨の頻度の増加や、農作物の品質低下、動植物の分布域の変化、熱中症リスクの増加など、気候変動の影響が全国各地で起きており、さらに今後、長期にわたり拡大するおそれがあります。

これまで我が国においては、地球温暖化対策推進法の下で、温室効果ガスの排出削減対策（緩和策）を進めてきましたが、気候変動の影響による被害を回避・軽減する適応策は法的に位置付けられておりませんでした。

気候変動に対処し、国民の生命・財産を将来にわたって守り、経済・社会の持続可能な発展を図るためには、温室効果ガスの長期大幅削減に全力で取り組むことはもちろん、現在生じており、また将来予測される被害の回避・軽減等を図る気候変動への適応に、多様な関係者の連携・協働の下、一丸となって取り組むことが一層重要となっています。

本法律案は、こうした状況を踏まえ、気候変動への適応を初めて法的に位置付け、これを推進するための措置を講じようとするものです。

《出典：環境省》

## 8 関係者の役割

### 市民

---

- 市民一人ひとりが、日々の暮らしにおいてエネルギーを大量に消費していることを自覚し、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入や身近なところから実践する省エネルギー行動、地球環境と調和したライフスタイルへの転換など、温室効果ガス排出量削減のための行動に積極的に取り組む役割を担います。

### 事業者

---

- 地域社会の構成員として、自らの企業活動と環境・エネルギー問題との関わりを十分に理解し、これらに留意した企業理念や行動指針を確立するなど、企業市民として地域社会や地域環境の保全に積極的に取り組む役割を担います。

### 学識経験者

---

- 地球温暖化やエネルギー関連の分野の知識を活かし、効果的かつ確実な地球温暖化対策を甲府市全域で取り組めるように助言を行う役割を担います。

### N P O

---

- 各団体の知識や経験、専門性を活かし、日々の暮らしにおいて、地球温暖化対策や省エネルギーの情報提供、再生可能エネルギー施設の設置(市民共同発電等)、普及啓発・環境教育の実施など、市民及び事業者の自発的な取り組みを支援する役割を担います。また、地球温暖化対策に取り組むリーダー的存在となり、市民・事業者・行政との連携の橋渡しの役割を担います。

### 甲府市

---

- 積極的に省エネルギー行動に取り組むとともに、情報提供・相談窓口など、地球温暖化及びエネルギーに関する広報活動、情報提供を行う役割を担います。さらに、生涯学習や子供たちの環境学習などの場の創出に努め、市民の知識を深める機会を提供する役割を担います。
- また、率先して公共施設への再生可能エネルギー導入を行うとともに、市民・事業者による再生可能エネルギー導入に対する支援を行う役割を担います。

## 第2章 2017（平成29）年度の施策の実施状況

### 1. 重点プロジェクト（6つのアクションプラン）の進捗状況

■目標値が定量化されている取り組みの実績については数値、進捗率については％で表し、また、目標値が定量化されていない取り組みの実績については「実施」「未実施」とし、進捗率については「実施：◎」「未実施：×」「一部実施：△」で表しました。

なお、甲府市地球温暖化対策実行計画は平成27年度に見直しを行い、これに伴い目標値を2030（平成42）年度とし、新たに取り組みを平成28年度から行っています。

アクションプラン1 環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進				
《人づくり・地域づくり・協働の推進》				
<p>（1）環境教育の推進について、「①幼児・学校教育における環境教育の推進」や、「②地域・家庭における環境教育の推進」では、「キッズISO14000プログラム」「太陽エネルギー体験教室」や各自治会や各種団体等を対象に、出前講座などを実施し、目標を達成しています。また、「③甲府市リサイクルプラザの活用」では、目標値はありませんが、施設利用者に環境教育の推進を図っています。</p> <p>次に（2）多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進（産学官民協働の推進）について、「①地域の温暖化防止活動等の推進」では、地域で活動する団体と協働・連携によるイベント等の開催をしましたが、目標値5回に届きませんでした。「こうふのecoの活性化」及び市域の温暖化対策の情報発信（甲府市環境コミュニティの活性化）は温暖化対策情報サイトで周知に努めています。また、「②地域の人材育成」では、地域コーディネーターの人材育成は、山梨県に地球温暖化防止活動員を15名推薦しコーディネーターの育成を図りました。</p>				
取組	目標値		実績	進捗率
（1）環境教育の推進				
①幼児・学校教育における環境教育の推進	環境教育事業への参加児童数			
	2017(H29)年度	1,600人/年	2,162人	135.1%
	2030(H42)年度	24,000人	延べ 4,202人	17.5%
②地域・家庭における環境教育の推進	地球温暖化防止関係の出前講座や講習会・イベント等の参加者数			
	2017(H29)年度	100人/年	122人	122.0%
	2030(H42)年度	1,500人	延べ 223人	14.9%

取組	目標値	実績	進捗率	
③甲府市リサイクルプラザの活用	甲府市リサイクルプラザを活用した環境教育の推進	(71,651 人利用)		
	【目標値なし】	実施	◎	
(2) 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進 (産学官民協働の推進)				
①地域の温暖化防止活動等の推進	地域で活動する団体と協働・連携によるイベント等の開催			
	2017 (H29) 年度	5 回/年	2 回	40.0%
	2030 (H42) 年度	75 回	延べ 5 回	6.7%
	「こうふの eco の活性化」及び市域の温暖化対策の情報発信 (甲府市環境コミュニティの活性化)			
	【目標値なし】	実施	◎	
②地域の人材育成	地域コーディネーター数 (単年度目標値なし)			
	2030 (H42) 年度	延べ 100 人	15 人	15.0%

## アクションプラン2 再生可能エネルギーの導入・普及促進

### 《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》

(1) 太陽エネルギーの活用について、「①太陽光発電システムの導入促進」では、目標を達成していません。これは東日本大震災を受け、一時的に設置台数が増加しましたが、現在は震災前の設置台数に戻った状況です。また、「②市民共同発電の推進」や「③太陽熱エネルギーの活用」では、目標値はありませんが、それぞれに設備が導入されており実施しています。

次に(2) バイオマスエネルギーの活用について、「①バイオマスエネルギーの活用と普及促進」では、「甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度」の活用や普及促進がされています。果樹剪定枝の活用においては焼却工場移転に伴い、モデル地区によるぶどうの剪定枝のエネルギー活用事業は終了しました。

(3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用、「①地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用」では、目標値はありません。現在は山宮減圧槽に設置した小水力発電が継続実施されています。

取組	目標値	実績	進捗率	
(1) 太陽エネルギーの活用				
①太陽光発電システムの導入促進	住宅用太陽光発電システムの導入			
	2017(H29)年度	1,100t-CO2/年	484.04t-CO2	44.0%
	2030(H42)年度	16,500 t-CO2	計 948.38t-CO2	5.7%
②市民共同発電の推進	市民、NPO等との連携による推進市民共同発電設備導入	(1件)		
	【目標値なし】	実施	◎	
③太陽熱エネルギーの活用	太陽熱エネルギーの活用の推進太陽熱エネルギー設備の導入			
	【目標値なし】	実施	◎	
(2) バイオマスエネルギーの活用				
①バイオマスエネルギーの活用と普及促進	木質バイオエネルギーの活用推進、木質ボイラー・木質ペレットストーブ等の普及促進、バイオマス資源のエネルギー活用の推進			
	【目標値なし】	実施	◎	
	果樹剪定枝利用量 平成28年度事業終了			
	2017(H29)年度	100 t /年	—	—
2030(H42)年度	1,500 t	計 62.62t	4.2%	
(3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用				
①地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用と普及促進	地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用と普及促進・設備の導入			
	【目標値なし】	実施	◎	



アクションプラン3 潤いある森林の整備				
《森林整備》				
<p>(1) 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）について、「①森林整備の推進」では、甲府市森林計画等の進行管理が適正に行われており、目標を達成しています。また、「②県産材等木材の利用促進」や「③森林の保護、育成に関する意識の醸成」では、目標値はありませんが、水源林植樹の集いや農林業まつりなどが開催されています。</p>				
取組	目標値		実績	進捗率
(1) 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）				
①森林整備の推進	森林（市有林、民有林）整備の推進			
	2017(H29)年度	21,500t-CO2/年	21,500t-CO2	100.0%
	2030(H42)年度	322,500 t -CO2	計 43,000t-CO2	13.3%
②県産材等木材の利用促進	県産材等木材の建築物等への利用促進			
	【目標値なし】		実施	◎
③森林の保護、育成に関する意識の醸成	森林環境保全イベント等の開催			
	【目標値なし】		実施	◎

アクションプラン4 地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動				
《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》				
<p>(1) 省エネ行動の普及促進について、「①省エネ行動の普及促進」では、目標値はありませんが、広報こうふ・温暖化対策情報サイトなどで情報提供を実施しています。また、「②緑のカーテンづくりの推進」では、緑のカーテンづくりセミナーを開催し、目標を達成しています。</p>				
<p>次に(2)低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進について、「①エコドライブの推進」では、目標値に達していませんが、安全運転研修で「エコドライブについて」の説明を行い、その後の伝達研修により多数に周知されています。また、「②公共交通機関の利用促進」では、目標値はありませんが、甲府市公共交通体系基本構想の推進による公共交通機関の利便性の向上で、エコ通勤トライアルウィークへの参加や、やまなし公共交通フェスティバルの開催をしています。さらに、新たにサイクル・アンド・ライドの推進に取り組みました。エコ通勤優良事業所数は目標を達成しています。「③自転車による環境にやさしい移動の推進」では、目標値はありませんが、「甲府市レンタサイクル事業」において、レンタサイクルを2,643名に貸出し、温暖化対策情報サイトで情報提供を行って</p>				

おり普及啓発に努めています。					
取組		目標値		実績	進捗率
(1) 省エネ行動の普及促進					
① 省エネ行動の普及促進	省エネ意識の高揚、醸成及び省エネ機器等の情報の提供、発信 エネルギーの見える化による 省エネ行動の実践 COOL CHOICE の普及促進				
	【目標値なし】		一部実施		△
② 緑のカーテンづくりの推進	緑のカーテンづくりイベント 等参加者数				
	2017(H29)年度	100 人/年	115 人	115.0%	
	2030(H42)年度	1,500 人	延べ 220 人	14.7%	
(2) 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進					
① エコドライブの推進	エコドライブの普及促進講習 会等参加者数				
	2017(H29)年度	100 人/年	73 人	73.0%	
	2030(H42)年度	1,500 人	延べ 131 人	8.7%	
② 公共交通機関の利用促進	甲府市公共交通体系基本構想 の推進による公共交通機関の 利便性の向上				
	【目標値なし】		実施		◎
	エコ通勤優良事業所数				
	2017(H29)年度	1 ヶ所/年	1 ヶ所	100.0%	
	2030(H42)年度	15 ヶ所	延べ 2 ヶ所	13.3%	
③ 自転車による環境にやさしい移動の推進	レンタサイクル等の推進及び 電動アシスト自転車等の普及 促進				
	【目標値なし】		実施		◎

アクションプラン5 賢く、快適な低炭素型都市構造への転換

《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》

(1) 建物・機器による省エネの推進について、「①省エネ住宅・施設等の普及促進」では、目標値を大幅に超えており、達成しています。また、「②省エネ機器の普及促進」では、目標値はありませんが、エネファームなどの省エネ機器に対して助成し、普及に努めています。さらに、「③LED照明の普及促進」では、防犯街路灯・商店街街路灯設置への助成や都市公園照明等の改修工事を実施していますが、甲府市の施設でのLED照明交換には時間を要しています。

次に(2) 緑あふれるまちづくり(都市緑化・ヒートアイランド対策の推進)について、「①都市緑化の推進」や「②農地の活用」、「③建物、道路等のヒートアイランド対策の推進」では、目標値はありませんが、「花いっぱい・緑いっぱい運動」の地域緑化及び「緑化教室の開催」による家庭緑化の推進や荒廃した農地の再生整備、透水性舗装による改良工事などを実施しています。

さらに(3) クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等)の普及促進について、「①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討」では、目標値はありませんが、リサイクルフェアにおいてクリーンエネルギー自動車を展示し普及啓発を行なうとともに、電気自動車を3台、低排出ガス車を1台導入しました。「②充電設備の整備、水素ステーションの整備」では、市内に急速充電器9箇所、普通充電器29箇所が設置されており、電気自動車の普及に向け、今後も充電設備の増加が見込まれます。また、水素ステーションは整備では、市内で1箇所が設置されています。

取組	目標値	実績	進捗率	
(1) 建物・機器による省エネの推進				
①省エネ住宅・施設等の普及促進	省エネ住宅の普及による温室効果ガス削減量			
	2017(H29)年度	100 t -CO2/年	147.40t-CO2	147.4%
	2030(H42)年度	1500 t -CO2	延べ 288.75t-CO2	19.3%
②省エネ機器の普及促進	トップランナー制度の情報提供省エネ機器の導入によるCO2削減の推進			
	【目標値なし】	実施	◎	

取組	目標値	実績	進捗率
③LED 照明の普及促進	公共施設等への率先的な LED 照明の導入による普及促進 (単年度目標値なし) H29 年度：40.41t-CO2		
	2030(H42)年度 4,500t-CO2 (H24 年度から)	延べ 487.88t-CO2	10.8%
(2) 緑あふれるまちづくり (都市緑化・ヒートアイランド対策の推進)			
①都市緑化の推進	都市緑化の推進 (緑化植樹イベントの開催) 道路・建物のヒートアイランド対策の推進		
	【目標値なし】	実施	◎
②農地の活用	耕作放棄地の有効活用		
	【目標値なし】	実施	◎
③建物、道路等のヒートアイランド対策の推進	建物等のヒートアイランド対策の推進	(舗装面積 1,065.8 m <sup>2</sup> )	
	【目標値なし】	実施	◎
(3) クリーンエネルギー自動車 (電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等) の普及促進			
①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討	クリーンエネルギー自動車の普及のための情報提供及び導入促進		
	【目標値なし】	実施	◎
②充電設備の整備、水素ステーションの整備	充電設備の整備 (単年度目標値なし)		
	2030(H42)年度	急速充電器： 市内 20ヶ所	急速充電器： 9ヶ所 45.0%
		普通充電器： 市内 50ヶ所	普通充電器： 29ヶ所 58.0%

アクションプラン6 持続可能な循環型社会の構築

《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》

(1) 廃棄物の3R (Reduce (発生抑制) Reuse (再利用) Recycle (再資源化))の推進について、「①分別回収によるごみ、生ごみの減量化、再資源化の推進」では、生ごみ処理機の購入補助と広報等による普及活動を実施しましたが、目標値に達していません。また、「②資源物排出の利便性の向上」では、目標値はありませんが、甲府市自治連合会と連携を図るなかで24時間ステーションの設置について協議しましたが、設置までに至りませんでした。「③バイオマス資源の循環による活用」においても、目標値はありませんが、生ごみ処理機の購入補助及び、EM ボカシ・しんぶんコンポストキットの無料配布や廃食油の回収などを実施しています。

取組	目標値	実績	進捗率	
(1) 廃棄物の3R (Reduce (発生抑制) Reuse (再利用) Recycle (再資源化))の推進				
①分別回収によるごみ、生ごみの減量化、再資源化の推進	生活系家庭ごみの減量、プラスチック製容器包装の分別回収			
	生ごみ処理機等の普及			
	2017(H29)年度	140件/年	50件	35.7%
	2030(H42)年度	2,100件	延べ 113件	5.4%
②資源物排出の利便性の向上	資源物24時間ステーションを段階的に設置			
	【目標値なし】	未実施	×	
③バイオマス資源の循環による活用	バイオマス資源の循環による活用			
	【目標値なし】	実施	◎	

# アクションプラン1

## 環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進

《人づくり・地域づくり・協働の推進》

### イチオシの取り組み

#### ●ごみへらし隊による保育園（所）・幼稚園・小学生を対象とした環境教育講座の開催【甲府市】

##### 《内容》

市民への啓発活動を強化することを目的に、平成16年4月から指導業務専門職員による「ごみへらし隊」を編成し、ごみ減量等をテーマに啓発活動（ごみへらしま専科）を行うなかで、保育園（所）・幼稚園や小学校低学年を対象にペットボトルや紙製包装容器などを材料にしたペン立てや竹とんぼなどを作ること（エコ工作）を通じて、楽しみながらごみのリサイクルや分別の方法などを教えています。

##### 《ポイント》

本市の未来を担う子どもたちが、環境問題の重要性を正しく認識・理解し、環境へ配慮する行動を「習慣」として実践できるようになり、学校で学んだことを家庭や地域社会での生活に生かすことが出来ます。



## （1）環境教育の推進

### 《取り組みの内容》

#### ① 幼児・学校教育における環境教育の推進

##### ＜本市の取り組み＞

- ◆市内小中学校の学校林活動への協力(森林体験) :実施6校 参加者数 594名
- ◆市内小中学校環境教育の推進 :実施36校
- ◆小学5年生対象の「キッズ ISO14000 プログラム」 :実施校 1校、参加児童数 98名
- ◆保育園(所)・幼稚園児、認定こども園におけるペープサートの上演 :実施 14園、参加園児数 1,018名
- ◆小学4、5、6年生対象の「太陽エネルギー体験教室」  
:実施校 10校、参加児童数 643名(NPO 法人みどりの学校との協働)
- ◆ごみへらし隊との共同事業や環境学習(イルカのKちゃん)、放課後児童クラブ(太陽E体験)の開催  
:実施回数 11回、参加者数 643名
- ◆環境教育副読本『環境にやさしい街 甲府』の作成・配布 :市内小学校4年生に配布 1,700冊
- ◆ごみへらし隊による保育園(所)・幼稚園・小学生を対象とした環境教育講座の開催  
:開催回数 82回、参加者数 3,409人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【山梨交通株式会社】

- ◆小学校低学年・支援学校生を対象とした「出前授業」乗車体験  
:参加学校数 13 校(甲府市内 3 校)、参加児童・生徒数 626 名

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆目指す「2050 年の甲府市の姿」を多様な方法により、あらゆる教育現場に活かし、児童・生徒に未来のイメージ化を図る :実施数 33 校
- ◆循環型エネルギー施設・設備の設置によりミニスマートライフ、省エネを日常的に体験させる  
:実施数 32 校
- ◆教育課程における環境教育の中で、甲府市の重点プロジェクトを学ぶ時間を位置づける(1、2 年は生活科、3 年は総合、4 年は社会、総合、5、6 年は理科、総合) :実施数 31 校
- ◆児童会活動の中で、環境問題に取り組む活動の実施(エコキャップ集め、ごみの分別、牛乳パック回収、ごみ拾い愛町奉仕作業等) :実施数 35 校
- ◆環境教育の継続実施と見直し :実施数 34 校

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆幼稚園・保育園(所)・学校等における環境学習会の開催 :実施回数 10 回、参加児童数 643 人

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆エコ×エネ子どもキャンプ(やまなし環境財団委託事業)  
森の中での楽しみながらの体験を通して、地球温暖化防止の必要性と大切さを学ぶ教室の実施(山梨県内の小学 4 年生～中学 3 年生対象) :実施回数 2 回 参加児童・生徒 49 人

②地域・家庭における環境教育の推進

<本市の取り組み>

- ◆甲府市地球温暖化対策地域協議会との協働によるセミナーやイベントの開催  
:開催回数 4 回、参加者数 約 9,000 名
- ◆ごみへらし隊による各自治会や各種団体等を対象に、出前講座(ごみへらしま専科)の開催  
:開催回数 54 回、参加者数 2,831 人
- ◆なでしこフェア、リサイクルフェアにおける「もってけ市」の開催 :参加者総数 1,400 人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【甲府商工会議所】

- ◆環境問題に取り組む「人づくり」と環境と経済を両立させた「持続可能な社会」の促進を目指す「eco 検定」の実施 :実施回数 2 回 受験者数 117 人

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆事業者や NPO と連携し、専門性を活かした出前授業や体験学習の充実(環境問題に関する)  
:実施数 17 校
- ◆家庭や地域との連携による、荒川河川敷清掃、家庭でのクリーン作戦、地域の清掃活動の実施  
:実施数 33 校



**【生活協同組合パルシステム山梨】**

◆環境関連出前講座の実施

「手漉きハガキ」、「自然派！お掃除」、「廃食油リサイクル(エコキャンドル作り)」

:講座の開催 9回 参加者 138人(全県で27回開催 参加者数 578人)

**【NPO 法人みどりの学校】**

◆地域における環境学習会の開催

工作教室等をはじめとするワークショップや、太陽エネルギー他自然エネルギー体験学習を開催

:開催数 4回 参加者数 142人

**【甲府市地球温暖化対策地域協議会】**

◆甲府市環境教育プログラムへの協働

「緑のカーテン」づくりセミナー、小水力発電施設「かわせみ1号」見学会、地球温暖化に関する講演会を協働で実施 :実施回数 4回 参加者 221人

◆環境教育に関するイベントの実施

夏休みに親子で参加できるエコ工作教室を実施 :実施回数 1回 参加者 16人

◆農産物の地産地消の試行実施

試行的に地産地消に向け、農地に小麦の栽培を実施 :収穫量 9kg

**③ 甲府市リサイクルプラザの利用推進**

＜本市の取り組み＞

◆リサイクルプラザの利用の推進

環境教育に関する教室や講座の開催について、地域及び各種団体等へ利用の推進

:リサイクルプラザ総利用者数 71,651人

＜市民、事業者、NPOの取り組み＞

**【NPO 法人みどりの学校】**

◆リサイクルプラザを活用しての啓発活動

ミニソーラー工作教室等をはじめとするワークショップや、自然エネルギー体験学習を開催

:開催数 3回 参加者数 117人

**(2) 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進(産学官民協働の推進)**

《取り組みの内容》

**① 地域の温暖化防止活動等の推進**

＜本市の取り組み＞

◆事業者・NPO等との協働による環境教育プログラムの実施

:開催数 7回 参加者数 363名

◆甲府市地球温暖化対策地域協議会との協働で、「緑のカーテン」づくりセミナー、「地球温暖化防止推進セミナー」を開催 :実施回数 2回 参加者 176名



◆甲府市環境コミュニティの活性化

温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、省エネ行動についての情報提供

:ホームページアクセス件数 :5,787 件

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

◆東京電力 HP や関係機関などで、省エネに関する情報提供

【NPO 法人みどりの学校】

◆地球温暖化対策地域協議会他、地域の団体等との協働による地球温暖化防止の推進

甲府市温対協、やまなしエコネットワーク、甲府市リサイクルプラザなどと協働で地球温暖化防止のイベントを行う中で体験教室の開催 :開催数 7 回 参加者数 650 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

◆山梨県内の環境関連団体との連携の拡大 :参加回数 3 回

① 県内の地球温暖化対策地域協議会との交流会(中央市)の参加

② ヴァンフォーレ甲府の試合前に啓発活動

③ エコプロダクツ 2017 へ参加

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

◆山梨県環境教育ミーティングの実施 :開催数 1 回 参加者 50 名

◆山梨県内の地域協議会同士の情報交換会の実施 :開催数 1 回

② 地域の人材育成

<本市の取り組み>

◆山梨県に地球温暖化防止活動員を推薦しコーディネーターの育成を図った :コーディネーター数 15 名

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

◆東京電力 HP や関係機関などで、省エネに関する情報提供(再掲)

【生活協同組合パルシステム山梨】

◆環境省家庭エコ診断制度、「うちエコ診断士」として 1 名が継続し登録

【NPO 法人みどりの学校】

◆地域の他団体との協働による人材育成

山城地区や石田地区と協働での、地域住民に向けての地球温暖化防止学習会、自然エネルギー体験教室等の開催 :開催数 2 回、参加者 45 人

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

◆地球温暖化防止活動推進員及び、関連活動を実施している人を対象とした研修会の開催

:開催数 2 回 延べ 90 名参加

## アクションプラン1の課題

### <本市の課題>

- ◆保育園・幼稚園児、認定こども園におけるペープサートの上演：ペープサートの上演を通じて、地球を守るために園児でもできることをわかりやすく説明し「地球温暖化」や「環境保全」に対する興味を持つきっかけづくりができた。来年度以降も題材を工夫しながら継続をしていく。

### <市民、事業者、NPOの課題>

#### 【甲府市公立小中学校長会】

- ◆目指す「2050年の甲府市の姿」を多様な方法により、あらゆる教育現場に活かし、児童・生徒に未来のイメージ化を図る：一部の実態については把握できるものの2050年の姿が明確でないためイメージ化を図ることが難しい。

#### 【NPO 法人みどりの学校】

- ◆地域における環境学習会の開催：以前は、温暖化防止センターとの協働で、エネルギーをテーマにし、年間に複数回学習会を行ってきたが、温暖化防止センター担当団体が変わり、活動拠点も北杜市となったため、協働の学習会が難しくなり、資料の提供を受けることなどにとどまっている。

#### 【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆「うちエコ診断」診断士登録：うちエコ診断士として、1名が継続し登録したが、診断機会は十分に作れなかった。

## アクションプラン2

### 再生可能エネルギーの導入・普及促進

《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》

#### イチオシの取り組み

#### ●市民立共同発電所の運営モデルについての情報提供

##### 【NPO法人みどりの学校】

##### 《内容》

NPO法人みどりの学校では、自立した地域の人々の共同の力で、自然エネルギーの利用推進をはかり、地球温暖化防止と持続可能な社会づくりを目指すため、国母八丁目にある法光寺と甲府市南部市民センターに太陽光発電施設を設置し、学習会・見学会の開催や、ホームページなどで普及啓発に努めています。

##### 《ポイント》

甲府市は、全国でトップクラスの日照時間です。



地域の特性に合ったエネルギーである太陽光の利活用や、市民共同での設置を紹介することで、市民や事業の関心を高めることができます。



### (1) 太陽エネルギーの活用

#### 《取り組みの内容》

#### ①太陽光発電システムの導入促進

##### <本市の取り組み>

- ◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度(住宅用太陽光発電システム導入に対する助成)  
:助成件数 190 件 総出力量 1,021.19kw

##### <市民、事業者、NPO の取り組み>

#### 【国母工業団地工業会】

- ◆太陽光発電システムの使用【パイオニア・マイクロ・テクノロジー(株)、パナソニック ファクトリーソリューションズ(株)、井上鋼材(株)、(株)サンニチ印刷、(株)東日製作所】  
:発電量 計 1,052,425kwh パネル枚数 5,324 枚

#### 【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆導入促進へ向けた情報提供の実施 再エネ買取制度(FIT)の動向に関わる情報提供

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆各種イベント等での住宅用太陽光発電の啓発活動 太陽光発電システム導入やエネルギーの賢い使い方のノウハウの提供 :実施回数 24 回、参加者数 1,567 人
- ◆住宅用太陽光発電パネルの相談対応・健康診断  
住宅に設置された太陽光発電パネルの不具合等の相談を受け、調査し、メンテナンスの促進 :相談対応 1 件(全県で 7 件)

② 市民共同発電の推進

<本市の取り組み>

- ◆「甲府市市民立共同発電事業助成金制度」により、NPO(市民団体)等が実施する自然エネルギー発電設備を設置運営した費用の一部を助成し、CO<sub>2</sub>削減の推進 :1 件「山城地区市民立共同発電所」  
年間発電量 7,204kwh 二酸化炭素削減量 3.41t-CO<sub>2</sub>(電気事業者別調整後排出係数 0.000474 使用)

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆市民立共同発電所の取り組みについての情報提供  
山城ひまわり第1、第2発電所他、設置に協力した発電所を活かした学習会を開催  
:開催数 1 回 参加者数 20 人 ※年間発電量:7,247kwh 二酸化炭素削減量 3.44t-CO<sub>2</sub>

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆光の森こども園太陽光発電施設の活用 :二酸化炭素削減量 5.56t-CO<sub>2</sub> ※年間発電量 11,734kwh
- ◆太陽光発電、太陽熱利用の新規共同施設の建設に関する検討 :検討回数 2 回

③ 太陽熱エネルギーの活用

<本市の取り組み>

- ◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度(高効率給湯器等への助成) :助成件数 296 件

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆太陽熱温水器の有効性についてのノウハウの提供  
各種学習会・イベントにて太陽熱温水器の利用促進のための情報提供を行なうほか、「第 3 回ソーラークッカー全国大会」への参加を検討 :実施回数 20 回 参加者数 1,442 人
- ◆市民共同の太陽エネルギーの活用  
甲府市温暖化対策地域協議会との協働での調査研究を開始した

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆太陽熱エネルギー利用(ソーラークッカー)の促進  
エコ工作教室の開催、環境リサイクルフェアで太陽熱利用に関するブースの出展 :来場者数 116 人

## (2) バイオマスエネルギーの活用

### 《取り組みの内容》

#### ① バイオマスエネルギーの活用と普及促進

##### <本市の取り組み>

- ◆汚泥焼却炉における重油(化石燃料)を代替エネルギー(木質系補助燃料[ペレット])に転換  
代替エネルギー転換率 :56%
- ◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度(木質ペレットストーブ導入に対する助成)  
:助成件数 11 件
- ◆バイオマス資源の活用 :木質バイオマスの事業化は需要量や費用対効果を考慮すると難しい状況。  
引き続き他市等の動向を注視する
- ◆果樹剪定枝等の活用 :焼却工場の移転に伴い、ぶどうの剪定枝のエネルギー活用が出来なくなったため特別収集は終了した。モデル地区において、ぶどうの剪定枝の持込受付を実施し 53 名の利用があった。

##### <市民、事業者、NPO の取り組み>

#### 【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆木質ペレットストーブ 2 台(既存)継続使用(西桂センター、いちのみやセンター)  
:ペレット使用量 740(kg)
- ◆組合員からの廃食油を回収し、県内 NPO 法人に引き渡し、バイオディーゼルへの燃料化  
:回収量 2,520ℓ

#### 【NPO 法人みどりの学校】

- ◆廃食油回収、菜の花栽培への協力、啓発活動 :実施回数 22 回 参加者 1,447 名

#### 【やまなし木質バイオマス協議会】

- ◆木質バイオマスエネルギー利用施設見学会の開催(事業者向け) :参加者数 31 人
- ◆木質バイオマスエネルギー利活用の相談窓口 :実施件数 5 件
- ◆木質バイオマスストーブの普及啓発 森林のフェスティバル、環境リサイクルフェアにて薪割り体験等  
を行い、木質バイオマス利用の PR :参加者数推定 18,800 人
- ◆未利用な木質資源の活用提案 :提案件数 3 件

## (3) 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用

### 《取り組みの内容》

#### ① 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用

##### <本市の取り組み>

- ◆上下水道における再生可能エネルギーの利活用として、山宮減圧槽(小水力発電)の運営  
:二酸化炭素削減量 559.67t-CO<sub>2</sub> 削減(平成 29 年度総発電量 1,180,734kwh)
- ◆上下水道施設における再生可能エネルギーの利活用検討  
「甲府市上下水道事業経営戦略」のなかで再生可能エネルギー利活用の具体的な実施時期を位置づけた

＜市民、事業者、NPO の取り組み＞

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆小水力発電施設(カワセミ1号)の見学会の開催 :開催回数 2回

## アクションプラン2の課題

＜本市の課題＞

- ◆バイオマス資源の活用:木質バイオマスの事業化は需要量や費用対効果を考慮すると厳しい状況である。引き続き他市等の動向を注視する。

＜市民、事業者、NPO の課題＞

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆各種イベント等での住宅用太陽光発電の啓発活動 太陽光発電システム導入やエネルギーの賢い使い方のノウハウの提供:各種イベントでの啓発活動は実施できたが、うちエコ診断士としての活動は依頼が無く実施しなかった。

【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆東京電力グループ(東京電力ホールディングス)としても、再生可能エネルギー事業の主電源化に向けた取り組みを進めており、水力および新エネルギー発電事業を担うグループ会社(リニューアブルパワー・カンパニー)において、水力発電所の増容量や効率化などを含めた再生可能エネルギーの導入・拡大を展開している。
- ◆東京電力パワーグリッドとしては、再生可能エネルギーの系統連系を担当しているが、設備容量不足の問題に対しては、国のスキームに則った対応をしているところ。

## アクションプラン3

### 潤いある森林の整備

《森林整備》

#### イチオシの取り組み

##### ●里山林整備【中央森林組合】

###### 《内容》

中央森林組合では、林業の不振、山村地域の過疎化・高齢化により森林の手入れを行う所有者などが減少し、適切な森林整備等が行われていない森林に対し、間伐・下草刈りなどの里山林整備を適切に行うことで、森林を健全化にし、温室効果ガスの削減や災害に強い山づくりに取り組んでいます。

###### 《ポイント》

里山林整備では、森林環境税を活用した所有者の負担軽減や、適切な森林整備を行うことで、森林の持つ公益的機能の維持・増進を図ります。



#### (1) 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）

##### 《取り組みの内容》

###### ①森林整備の推進

###### <本市の取り組み>

- ◆甲府市有林(人工林)の間伐事業 : 間伐面積 10.16ha
- ◆民有林の人工林整備の実施 : 造林面積 1.19ha 下刈面積 11.52ha
- ◆森林病虫害防除事業の実施 : くん蒸処理数量 553 m<sup>3</sup> 薬剤処理数量 31 m<sup>3</sup>
- ◆間伐材の有効活用の促進 : 販売数量 117.04 m<sup>3</sup>

###### <市民、事業者、NPO の取り組み>

###### 【中央森林組合】

- ◆間伐整備(甲府市の民有林で間伐材の搬出) : 搬出材積 400 m<sup>3</sup>
- ◆民有林の下草刈り : 下草刈り面積 9.11ha

###### ②県産材等木材の利用促進

###### <本市の取り組み>

- ◆公共施設への県産材等木材の利用について、温暖化対策情報サイト「こうふの eco」で紹介



### ③森林の保護、育成に関する意識の醸成

#### <本市の取り組み>

- ◆「水源林植樹の集い」の開催、奥御岳市有林内での植樹活動  
:参加者 399 人 植栽面積 0.30ha 植栽本数 900 本
- ◆森林を利用した環境教育の推進  
自然とふれあいながら間伐体験やネイチャーゲームを体験する環境教育の実施  
:参加団体 2 団体、参加者数 62 人
- ◆農林業まつり(木工体験コーナー)で、親子で木工体験を通じ、木の温かみや大切さを学ぶ  
:参加者数 400 人

#### <市民、事業者、NPO の取り組み>

##### 【中央森林組合】

- ◆里山林整備  
荒廃した里山など、間伐整備により、健全な森林に再生 :再生面積 5.77ha

##### 【やまなし木質バイオマス協議会】

- ◆地域の間伐材を利用した薪づくり。薪シェア薪バンクと題したイベントを 4 回開催 :参加者数 28 人

##### 【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆森林整備に関するイベント「水源林植樹の集い」に参加 :参加者数 8 名

### アクションプラン 3 の課題

#### <本市の取り組み>

- ◆甲府市有林(人工林)の間伐事業他は地味な活動であるが、大切な作業。「こうふの eco」での紹介だけでなく、新聞・テレビ・ラジオの取材などを活用し、多くの市民に活動を認識してもらうべきであると思う。
- ◆地域材の使い方を、今後どうしていくか。甲府市で出た材をどう使っていく事が出来るか。

#### <市民、事業者、NPO の課題>

##### 【中央森林組合】

- ◆民有林の森林整備において、所有者が高齢などの為、境界が不明なところがあり、整備ができない場合がある。



## アクションプラン4

### 地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動

《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》

#### イチオシの取り組み

##### ●「甲府市レンタサイクル事業」の実施【甲府市】

###### 《内容》

甲府市では、より気軽に、より快適に観光できるよう、電動アシスト付き自転車によるレンタサイクル事業を実施しています。

観光客などの二次交通として環境に優しい電動アシスト付き自転車をご利用いただくことで、甲府市の歴史文化や自然を身近に感じられます。

###### 《ポイント》

温室効果ガスを排出しないレンタサイクルは温暖化対策



に有効であるとともに、電動アシスト付き自転車であるため、盆地特有の勾配のある道路でも快適にご利用いただけます。また、貸し出し場所も甲府駅周辺のホテルなど7ヶ所にあり、利用者の利便性も高くなっています。



### (1) 省エネ行動の普及促進

#### 《取り組みの内容》

##### ①省エネ行動の普及促進

###### <本市の取り組み>

◆広報こうふ「スマートライフ通信」の掲載や温暖化対策情報サイト「こうふの eco」による情報提供

: 広報こうふ掲載数 12回(毎月)

###### <市民、事業者、NPOの取り組み>

##### 【国母工業団地工業会】

◆生産ラインにおけるエネルギー無駄ゼロに導くIT活用事業による年間購入電力の削減

: 実施事業所数 11社

##### 【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

◆東京電力HPや関係機関などで、省エネに関する情報提供(再掲)

##### 【生活協同組合パルシステム山梨】

◆うちエコ診断の実施 : 診断件数 9件

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

◆環境イベント等での普及啓発

環境リサイクルフェア、市民向けセミナー等の実施 :参加者数 337 人

◆協議会のウェブサイトにおいて、イベント等の情報更新による周知

:ブログ更新回数 1,400 回

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

◆全国地球温暖化防止活動推進センター 統一アンケートを各種イベントや教室時に実施

:アンケート調査件数 465 件

◆「地球温暖化防止まずはこんなところから」シート他、関係機関等への資料配布

:配布件数 200 件

②緑のカーテンづくりの推進

<本市の取り組み>

◆緑あふれるまちづくり(緑のカーテン)の推進

:苗の配布数 幼稚園等 631 本、小学校 496 本、公共施設 587 本

:緑のカーテンセミナー参加者数 115 人

◆市立甲府病院の壁や窓、上下水道局本庁舎南側に緑のカーテンを設置

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

◆ぶどう等による緑のカーテンづくりを実施 :参加企業 7 社 カーテン面積 238 m<sup>2</sup>

【甲府市農業協働組合】

◆ゴーヤによる緑のカーテンづくりの実施 :設置 2 店舗

【甲府市公立小中学校長会】

◆学校等における緑のカーテンづくりの実施 :実施校数 30 校

【生活協同組合パルシステム山梨】

◆事業所(本部、甲府センター、一宮センター、西桂センター)での緑のカーテンの実施

:実施事業所数 4 事業所

【NPO 法人みどりの学校】

◆緑のカーテン、屋上緑化、緑化透水性舗装等の啓発活動 :啓発活動 25 回 人数 1,588 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

◆緑のカーテンの普及促進

緑のカーテンセミナーの開催し、参加者へゴーヤ苗を配布。協議会で栽培した苗を学校・公共施設等に配布、緑のカーテンの実践と普及啓発活動の実施

:緑のカーテン実施本数(配布数) 2,291 苗

### ③ 甲府市（事務・事業）の率優先的取組み

<本市の取組み>

- ◆庁内施設のエネルギー単位の削減:基準年度(平成 25 年度)と比べ、平成 28 年度は 0.5%の減

## (2) 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進

《取組みの内容》

### ① エコドライブの推進

<本市の取組み>

- ◆市職員に対し、安全運転研修においてエコドライブについての啓発を実施 :参加者数 73 人
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」で、エコドライブの実施方法の情報提供

<市民、事業者、NPO の取組み>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆エコドライブの普及啓発活動(各種学習会での情報提供等)

### ② 公共交通機関の利用促進

<本市の取組み>

- ◆やまなしエコ通勤トライアルウィークへの参加 :延べ参加者数 1,219 人
- ◆山梨県、バス・鉄道事業者と共催により、公共交通の利用促進のためのイベントを開催  
:実施回数 1 回 来場者数 5,000 人
- ◆分かりやすい公共交通情報の提供として、市民が便利なバス情報を活用できるやまなしバスコンシェルジュの普及啓発 :キャンペーン回数 1 回
- ◆公共交通に対する地域主体の取組みを支援するため、地域説明会を実施 :実施地区 3 地区
- ◆サイクル・アンド・ライドの推進 :駐輪場の設置数 5 箇所
- ◆「エコ通勤優良事業所認証制度」について、温暖化対策情報サイト「こうふの eco」で周知・普及活動

<市民、事業者、NPO の取組み>

【山梨県バス協会(山梨交通株式会社)】

- ◆山梨県バス総合案内システム「やまなしバスコンシェルジュ」の運営  
現行のバスロケーション情報(バス停の位置・バス路線・時刻表・バスの現在の走行位置・乗換経路・最寄の観光情報など)に提供情報を付加するシステム改良を行い、より利便性を向上し、路線バスの利用促進 :サイトへのアクセス件数 約 35,711(回/月平均)

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆「エコ通勤奨励制度」において、エコ通勤の実施による CO<sub>2</sub>削減 :参加者延べ 4 人(181.0kg-CO<sub>2</sub>削減)

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆公共交通利用の情報提供 :実施回数 10 回、参加者数 601 人

### ③自転車による環境にやさしい移動の推進

＜本市の取り組み＞

- ◆電動アシスト自転車の貸与による「甲府市レンタサイクル事業」：利用者数 2,643 人
- ◆地球温暖化対策情報サイト「こうふの eco」で甲府市レンタサイクル事業等について情報提供

### アクションプラン4の課題

＜本市の課題＞

- ◆電動アシスト自転車の貸与による「甲府市レンタサイクル事業」：レンタサイクル事業において、どれだけの効果があったか。

＜市民、事業者、NPO の課題＞

【山梨県バス協会（山梨交通株式会社）】

- ◆山梨県バス総合案内システム「やまなしバスコンシェルジュ」の運営：「やまなしバスコンシェルジュ」システムの効果の検証。

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆エコドライブの普及啓発活動：他市で学習会を行ったが、甲府市内では行えなかった。情報提供の仕方についての工夫が課題である。

## アクションプラン5

### 賢く、快適な低炭素型都市構造への転換

《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》

#### イチオシの取り組み

#### ●エコジョーズ導入の推進による二酸化炭素削減【東京ガス山梨株式会社】

##### 《内容》

エコジョーズ（省エネ高効率給湯器）は、従来の給湯器で捨てられていた約200℃の排気ガスの熱を利用することで、16%も少ないガスで同じ温度のお湯を沸かすことができる給湯器です。排気ガスの熱は約50℃まで低下し、95%（機種により異なります）という高い熱効率を実現します。

##### 《ポイント》

家庭のエネルギー消費の約3分の1を占める「給湯」分野で、二酸化炭素排出量を削減でき環境に優しいという点が最大のメリットです。これまで捨てられていた排熱を利用することによって、ガスの使用量の削減となり、温暖化対策だけでなくガス代の節約にも繋がります。



### （1）建物・機器による省エネの推進

#### 《取り組みの内容》

#### ①省エネ住宅・施設等の普及促進

##### ＜本市の取り組み＞

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、住宅等における温暖化対策や省エネについて身近で簡単にできる取り組みや、家庭における二酸化炭素排出の「見える化」についての情報提供

#### ②省エネ機器の普及促進

##### ＜本市の取り組み＞

- ◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度（高効率給湯器等への助成）（再掲）：助成件数 296 件

##### ＜市民、事業者、NPO の取り組み＞

#### 【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】

- ◆東京電力 HP や関係機関などで、省エネに関する情報提供(再掲)

#### 【東京ガス山梨株式会社】

- ◆エコジョーズ導入の推進による二酸化炭素削減 :CO<sub>2</sub>削減量 223(kg-CO<sub>2</sub>/台)

### ③ LED照明の普及促進

#### <本市の取り組み>

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、LED 照明導入による省エネ効果等について情報提供
- ◆防犯街路灯の設置及び LED 導入等への助成 : 補助灯数 1,575 灯
- ◆商店街団体が維持管理する街路灯を LED 化及び電気料の補助  
: LED 街路灯設置 90 灯 電気料の補助 377 灯
- ◆甲府市地方卸売市場整備計画における照明設備をLED化に実施  
: 機器導入数 7 灯 CO<sub>2</sub>削減量 1.2 t-CO<sub>2</sub>
- ◆都市公園等の照明をLED化に改修(省エネ・グリーン化推進事業)  
: 機器導入数 24 灯 CO<sub>2</sub>削減量 9.2 t-CO<sub>2</sub>

## (2) 緑あふれるまちづくり (都市緑化・ヒートアイランド対策の推進)

### 《取り組みの内容》

#### ① 都市緑化の推進

#### <本市の取り組み>

- ◆花いっぱい緑いっぱい運動の推進(6種類の花苗の配布)  
: 配布団体数 115 団体 配布株数 112,142 株
- ◆緑化教室の開催による「家庭緑化」: 開催数 5 回
- ◆多くの公園利用者に自主的な美化活動を行う、公園美化活動団体の設立の促進  
: 設立団体数 1 団体(計 23 団体)
- ◆生垣設置助成 : 助成件数 6 件 生け垣の延長 41.6m
- ◆事業所等の緑化指導 : 助成件数 1 件 面積 396.75 m<sup>2</sup>
- ◆市保存樹木制度による樹木の指定 : 指定本数 9 本
- ◆新築記念樹事業の推進 : 配布数 12 本

#### <市民、事業者、NPO の取り組み>

#### 【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆屋上緑化の実施(本部・一宮センター) : 実施事業所数 2ヶ所

#### 【NPO 法人みどりの学校】

- ◆屋根緑化の情報提供(小瀬エコブースでのエコクイズはじめ、各種学習会にて)  
: 実施回数 2 回 参加者数 60 人

#### ② 農地の活用

#### <本市の取り組み>

- ◆荒廃した農地の再生整備  
農地の再生利用に向けた機械の貸付を行うとともに、荒廃農地の再生相談等の指導

:再生整備面積 4,640 m<sup>2</sup>

◆市民農園の貸出

小曲市民農園の貸し付け、農業体験の場を提供 :農園貸付数 50 区画

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【生活協同組合パルシステム山梨】

◆市民農園的な展開「パルファーム山梨」

組合員の希望者に農園を貸し出し :利用者 5 人 利用区画数 8 区画

③建物・道路等のヒートアイランド対策の推進

<本市の取り組み>

◆透水性舗装の推進を行いヒートアイランド対策

:道路改良工事等 実施面積 1,065.8 m<sup>2</sup>

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

◆駐車場等の透水性緑化舗装の情報提供

:実施回数 1 回 参加者数 7 人

(3) クリーンエネルギー自動車（電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車等）の普及促進

《取り組みの内容》

①クリーンエネルギー自動車の普及促進及び導入検討

<本市の取り組み>

◆公用車への電気自動車・燃料電池車の導入 :電気自動車 3 台導入

◆公用車への低排出ガス車の導入 :低排出ガス車 1 台導入

◆リサイクルフェアでクリーンエネルギー自動車の展示による普及啓発

◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において情報提供

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

◆社有車への電気自動車の導入 :2 社 電気自動車 6 台導入

【甲府商工会議所】

◆公用車に、電気自動車を導入し、PR 活動を実施 :電気自動車 1 台

【山梨交通株式会社】

◆社用車に、燃料電池車を導入し、水素ステーションと併せ PR 活動を実施

:燃料電池車 1 台

**【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】**

- ◆V2H(Vehicle to Home)普及促進に向け、イベント等でPRを実施 :実施回数1回

**②充電設備、水素ステーションの整備**

＜本市の取り組み＞

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」においてクリーンエネルギー自動車や充電器の情報提供

**アクションプラン5の課題**

＜本市の課題＞

- ◆市保存樹木制度による樹木の指定 : 近隣に落ち葉の苦情があるなど、指定木の維持管理が課題である。

＜市民、事業者、NPO の課題＞

**【東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社】**

- ◆効率的な電気の使い方等のノウハウや省エネの必要性といった情報のPR
- ◆グループ会社が持つ技術(太陽光発電、マイクロ水力発電、LED化、V2Hなど)の活用など、東京電力グループとして温暖化防止に寄与できる施策を、今後関係先に積極的に提案していきたい。



# アクションプラン6

## 持続可能な循環型社会の構築

### 《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》

#### イチオシの取り組み

#### ●社員食堂から出る生ごみの堆肥化【協同組合国母工業団地工業会】

##### 《内容》

協同組合国母工業団地工業会では、各企業から排出される廃棄物をゼロとするために、「ゼロ・エミッション」をスタートしています。この取り組みの一環として、社員食堂から出る生ごみをコンポスト化して、地域農家に堆肥として提供し、農家で収穫された農産物を組合企業が購入するという循環システムを構築しています。

##### 《ポイント》

可燃ごみである生ごみを堆肥化し、再資源化を図ること



により、廃棄物処理による温室効果ガスの排出量削減になります。また、循環システムが構築されることで環境負荷をできる限り低減する「循環型社会」になり、資源化率の向上が図られます。



### (1) 廃棄物の3R (Reduce・Reuse・Recycle) の推進

#### 《取り組みの内容》

#### ①分別回収によるごみ、生ごみの減量化、再資源化の推進

##### ＜本市の取り組み＞

- ◆有価物回収事業 :自治会への報奨金交付件数 374件
- ◆資源回収推進事業 :資源物回収量 2,631t
- ◆陶磁器製食器のリユース・リサイクル事業 :陶磁器製食器回収量 7.5t
- ◆リサイクル推進員制度の活用 :活動延べ人員 7,411人
- ◆ミックスペーパー分別回収 :回収量 1,668t
- ◆使用済み小型電子機器回収 :回収量 6.3t
- ◆容器包装廃棄物(紙箱・紙袋・包装紙)の分別回収 :紙製容器包装類回収量 12.5t
- ◆プラスチック製容器分別回収  
:その他プラスチック製容器包装回収量 623t(平成28年12月より市内全地区の回収を開始)
- ◆分別排出普及啓発チラシを作成・配布 :全戸配布(プラスチック製容器包装分別回収啓発用チラシ)

- ◆一般廃棄物収集運搬許可業者に対する事業系ごみの適正処理研修会の開催 :開催数 1 回
- ◆中小規模事業者への訪問調査指導 :訪問調査指導数 1,067 社
- ◆多量排出事業者に対する事業系一般廃棄物削減等の啓発  
:実施回数 1 回 減量化等計画書の提出件数 86 社

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆会員企業による共同リサイクル事業、紙類(ダンボール、新聞、雑誌、ミックスペーパー、模造紙)の分別回収再利用、廃プラ・木くずの固形燃料化 :紙類回収量 535t 木くず・廃プラ回収量 255t

【甲府商工会議所】

- ◆会員事業所から回収したミックスペーパーを古紙再生品原料(トイレtpーパー等)として利用、リサイクルの啓発 :古紙回収量 83,851 kg

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆容器の回収(率)  
リユースびん[64.7%]、紙(牛乳)パック[70.2%]、ABパック[28.0%]、商品案内(カタログ)[85.5%]、注文用紙[85.1%]、ポリ袋[36.8%]、たまごパック[82.6%]、食材セットトレー[63.6%]、ペットボトル[66.2%]

【甲府市自治会連合会】

- ◆分別の徹底によるごみの減量化(ミックスペーパー) :有価物回収量 1,667.74t

②資源物排出の利便性の向上

<本市の取り組み>

- ◆資源物24時間ステーションの設置  
:甲府市自治会連合会と連携を継続し、地域の要望に応じて協議調整を行い、整備を進める

③バイオマス資源の循環による活用

<本市の取り組み>

- ◆下水汚泥焼却灰の再利用 :焼却灰搬出量 695t
- ◆家庭で不用になった食用油の分別回収 :廃食油回収量 9,120ℓ
- ◆生ごみ処理機購入補助 :補助件数 50 件
- ◆生ごみ発酵促進剤 EM ポカシ無料配付 :ポカシ配付実数 25,480 袋
- ◆しんぶんコンポストキットの無料配付 :661 件
- ◆剪定枝・落ち葉や廃食用油などのバイオマス資源の活用  
:自治連合会へ落葉の堆肥化事業の取り組みの協力を依頼
- ◆食品ロス対策事業の推進(自校完結型の生ごみ排出ゼロ)  
:モデル校 1 校において給食の残菜処分量 9t

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆会員企業内社内食堂より発生する生ごみの堆肥化及び、廃食用油の回収

:生ごみ発生量 14,492kg (5社で取り組み) 廃食用油回収量 5,200ℓ (2社で取り組み)

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆菜の花の栽培、種の収穫 :実施回数 2回

- ◆廃食油回収 :回収量 488ℓ

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆生ごみの資源化の情報提供

各種学習会において、食品残さの減量、コンポスト、EM ポカシ等の発酵促進剤による生ごみの資源化等についての情報提供 :実施回数 10回、参加者数 601人

アクションプラン6の課題

<本市の課題>

- ◆有価物回収事業 :有価物回収を行っている自治会員の高齢化が顕著であり、事業を廃止、縮小するなど全体的に回収量が減少傾向にある。
- ◆資源物24時間ステーションの設置 :自治会連合会との連携を図る中で、候補地の選定や協議を行っているが、設置まで至らなかった。今後も、甲府市自治連合会との連携を継続し、地域の要望に応じて協議調整を行い、整備を進めていく。

<市民、事業者、NPO の課題>

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆菜の花の栽培、種の収穫・廃食油回収 :維持管理や取り組みの継続が困難である。

# 地球温暖化への適応策

## 各分野における適応策の方向性

### (1) 健康被害の予防

影響

熱中症による救急搬送患者が増加し、特に高齢者や子どもは重症化のリスクが高くなることや、マラリヤやデング熱などの感染症の増加等が懸念されます。

特に熱中症のリスクは、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなり、暑さに対する体の調節機能が低下する高齢者において、高くなります。

#### 《取り組みの内容》

##### <本市の取り組み>

- ◆市ホームページにおいて熱中症の症状や予防、手当てなどの情報掲載、また、熱中症予防情報関連サイトへの情報提供
- ◆ポスター掲示、庁舎前大型ビジョン・ラジオによる普及・啓発
- ◆健康づくりに関わる地区組織等での健康教室での普及・啓発
- ◆乳幼児健診や母子健康手帳発行時に、妊婦や乳幼児の保護者への普及・啓発
- ◆防災無線による注意喚起(31回)
- ◆クールシェアスポットの設置(市関係施設の協力)(25箇所)
- ◆山梨県と連携協定を結んだ大塚製薬が脱水予防、乾燥予防の健康教育をイベント時に実施
- ◆透水性舗装の推進を行いヒートアイランド対策(再掲)  
:道路改良工事等 実施面積 1,065.8 m<sup>2</sup>
- ◆6月1日～9月30日の夏期期間中に上下水道局1階ロビーを「クールシェアスポット」として開放。希望者には「甲府の水」を配布
- ◆甲府駅北口にあるよっちゃばれ広場においてミスト噴霧装置による局所的な気温低減

##### <市民、事業者、NPOの取り組み>

#### 【甲府市公立小中学校長会】

- ◆熱中症注意喚起(保健だよりの発行、学校ホームページにおいて熱中症の症状や予防などの情報掲載、部活動練習中の全校放送、熱中症予防指針による全校児童への啓発)
- ◆保健室だより等を通して、水筒持参を呼びかけ、体育の授業はもちろん、休み時間等に適切に水分補給をさせるなど指導上の共通理解を図った。
- ◆児童への熱中症予防指導(帽子着用・水筒での水分補給・汗拭きタオル持参)
- ◆職員会議において、熱中症対策において養護教諭から説明・提案することで、職員に症状や対応法について周知した。
- ◆緊急時の救急車対応などについて、職員会議において全職員で確認をした。危機管理訓練の一環でAED講習時においても危機管理意識を高めた。
- ◆熱中症だけでなく感染症予防もかねて、年間通して水筒の持参をさせた。塩分チャージ等の常備及び、

校外学習の際に非常用として教職員が持参した。

- ◆5月の連休後から毎日熱中症チェッカーによる点検を行い、こまめな水分の補給や戸外での運動制限なども含め、熱中症予防対策を進めている。
- ◆熱中症計を設置しWBGTを指針として、日ごろ掲示してある運動指数に基づき、校庭での運動について制限をかける。
- ◆子どもたちを暑さから守るための取り組み。(定期的な熱中症計による測定、高温時の校庭や体育館の部活動中止)
- ◆校庭入口にミスト噴射装置を設置し、気温が上がった時には対応する。
- ◆緑のカーテンの設置やインターロックへの部分への水やりなどを行うことで、健康被害を予防できた。
- ◆熱中症予防マニュアルを作成して、熱中症予防に取り組んだ。

## (2) 自然(水)災害

影響	近年、気候変動の影響による局地的な集中豪雨により、甚大な豪雨・洪水の被害が発生しています。今後も、その頻度が増し、河川洪水の機会が増加することが予測されます。
----	---

### 《取り組みの内容》

#### <本市の取り組み>

- ◆「甲府市洪水・土砂災害ハザードマップ」並びに「わが家の防災マニュアル」による啓発活動。
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふのeco」において、世界各地の異常気象などの情報提供をした。

#### <市民、事業者、NPOの取り組み>

##### 【やまなし木質バイオマス協議会】

- ◆地域の間伐材を利用した薪備蓄システムなどの方法を検証し、重要性を見える化をして推進を図っている。

##### 【甲府市公立小中学校長会】

- ◆豪雨・洪水対策マニュアルを危険箇所の状況によって、毎年見直しを行っている。
- ◆危機管理(防災)マニュアルに「風水害等防災計画」を記載した。「災害時に増水の危険のあるところ」を掲載し、注意を呼び掛けた。
- ◆防災マニュアルに風水害対策等を記載。防災マップの見直し確認を行った。「災害発生時の留意点」において連絡体制は緊急業務について記載。保護者に「緊急時対応マニュアル」を保護者会にて配布し、災害発生時の児童の引渡し方法を周知した。
- ◆豪雨時の登下校指導。引渡し訓練の際、親子で危険箇所のチェックをし、報告をもらった。
- ◆地域の危険箇所について集団下校時の機会を活用し点検し、職員間の共通理解を行った。マメルメールに全家庭加入してもらい、注意喚起や登下校時間の変更等緊急時に、できるだけ早い情報提供を行った。
- ◆豪雨時における校内区の側溝や河川の状況等について地域ボランティアと連携し、危険箇所の状況把握と情報収集を行い、見守り隊や職員の付添等により登下校の安全確保を図っている。

- ◆安全マップに土石流危険箇所明示。児童への豪雨時の登下校の指導。地域の見守り隊など諸団体との連携のもと危険箇所の確認を行った。注意報が発令されるなど、豪雨や洪水が予想される場合には、随時職員打合せを行い全校体制での対応の徹底を図った。
- ◆地域防災マップや地域安全点検マップを作成し、また、引渡し訓練時に、地域の危険箇所を確認するよう保護者にも呼び掛けた。台風などの注意報が発令され、豪雨や洪水が予想された際は、職員の打合せを臨時で行い、地域の危険箇所で登下校の指導ができるようにした。
- ◆各学級で、プールの水泳学習の際に着衣泳を取入れ、模擬体験を通して意識付けを行った。

### (3) 水環境・水資源

影響 気候変動による渇水や洪水などの水環境・水資源へのリスクが高まります。

#### 《取り組みの内容》

##### <本市の取り組み>

- ◆甲府市御岳町地内(奥御岳市有林)市民との協働による植樹活動「水源林植樹の集い」を実施した。  
(再掲)  
面積 0.30ha ミズナラ 900 本植栽 総参加者数 399 名
- ◆雨水タンクの普及促進(環境カウンセラー協会による展示等)。

### (4) 食料

影響 コメ、野菜、果樹等の品質低下(巨峰系品種の着色遅延、収穫期や収穫に近い品種の一部で果梗部の褐変、果粒の軟化など)の影響が懸念されます。

#### 《取り組みの内容》

##### <本市の取り組み>

- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、それぞれの地域で温度変化した場合に潜在的食料生産量が低下するなどの情報提供をした。

### (5) 自然生態系

影響 地球温暖化は生物多様性の危機の一つと考えられ、これまで生息していた生物の生息域が変化し、私たちの身近な生活にも影響を及ぼします。

#### 《取り組みの内容》

##### <本市の取り組み>

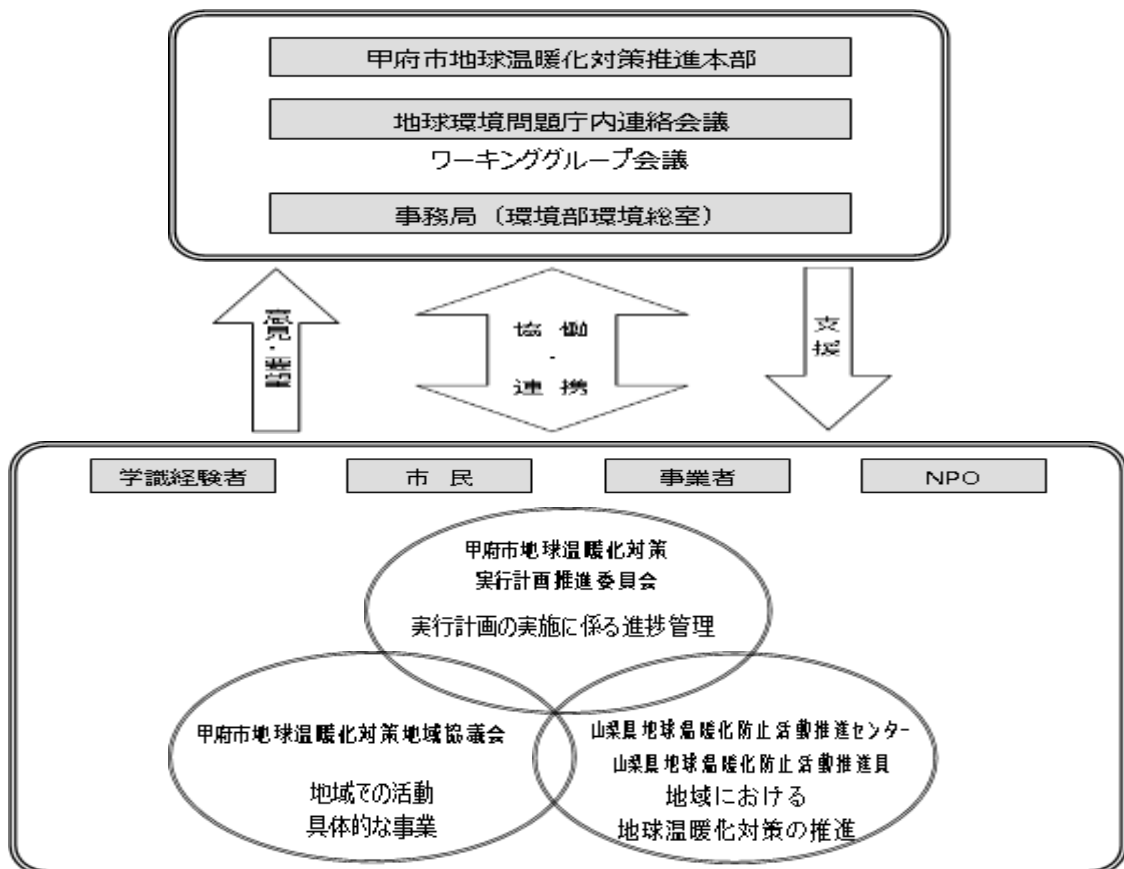
- ◆温暖化対策情報サイト「こうふの eco」において、気温上昇に応じた生物種の絶滅リスクの増加などの情報提供をした。



### 第3章 施策の検証

#### 1 実行計画の推進体制

- 本市では、実行計画の推進状況の検証や施策の推進方法について協議を行うため、市民、学識経験者、地元企業、団体、行政等の代表者で組織する「甲府市地球温暖化対策推進委員会」を設置しています。
- 推進委員会は、実行計画の推進に関することや進捗管理に関すること、評価及び見直しに関すること等を所掌しています。
- また、推進委員会には実行計画の専門的な調査、検討を行うための部会を設置しており、部会では、施策の進捗状況について把握し、その結果につき個別評価を行います。
- 部会で個別評価した結果については、推進委員会に付し、全体で再評価を行い、取り組みに遅れがある場合は改善策を検討します。
- 市内においては、実務担当者による「ワーキンググループ会議」、その上部機関として本市の対策を協議する「地球環境問題庁内連絡会議」、さらに地球温暖化対策に関する施策について本市が統一かつ総合的に推進していくことを目的とした「地球温暖化対策推進本部」があります。
- 市内及び推進委員会において、実行計画の進捗管理を行うことにより、Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Act（改善）のPDCAサイクルによる施策の着実な推進を図っています。



甲府市地球温暖化対策実行計画の推進体制

## 2 甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会からの意見

- 平成 29 年度の「市の取り組み」及び「市域での取り組み」について、推進委員会からいただいたご意見等をアクションプランごとにまとめました。
- いただきましたご意見等を踏まえ、実行計画の施策や取り組みを推進していきます。

<b>全体に対する意見</b>
<p>■取り組みをどう活かしていくのが重要だと思います。</p> <p>実施しているかで、実施していればマルになっています。数値目標があり、実施率として、目標どおり実施されていますという時に、実施されていけばそれでいいのかというところが、次のステップとしては大事になります。ただ実施しているだけではなく、その中身に改善がされていくべきところがあるのか。例えば環境教育であれば、何日実施しているだけではなく、その中身がよりよいものになっていく必要があります。報告書を作るのは改善の為にやっていく訳ですから、その改善に繋がるような評価というのを工夫し、さら進めていけると、より良くなると思いました。</p>
<b>アクションプラン1 環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進</b> 《人づくり・地域づくり・協働の推進》
<p>■ごみへらし隊による保育園(所)・幼稚園・小学生を対象とした環境教育講座の開催は、小さい時、素直な時期に教育するのは、とても効果があると思う。開催回数も多く、参加者数も多いのも評価できます。</p>
<b>アクションプラン2 再生可能エネルギーの導入・普及促進</b> 《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》
<p>■小水力発電の普及啓発(温対協 29-7)について、小水力発電「カワセミ1号」は発電量が分かっているのであれば記載した方がいいかと思う。600Wと少量ですが、モデルとして見せる為に付けているという所があるので、どのような時に使って、どのような時に使えないのかという事を明示した方が見学する側や、興味を持つ人にはプラスになると感じます。</p>
<b>アクションプラン3 潤いある森林の整備</b> 《森林整備》
<p>■森林環境税がどのように使われているのか。具体的に成果があるならそれを使ってこのような事が出来ているという事は相当意味があるので、どのように使われて、このように反映され、しかも豊かな水を育むことなど、情報として出していければよいと感じます。</p>



<p><b>アクションプラン4 地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動</b></p> <p style="text-align: center;">《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》</p> <p>■ サイクル・アンド・ライドは、真夏は暑くて無理かもしれないが、春、秋は自転車の移動もよいかもしれないので、利用者も増えるかと思しますので、優れた取り組みだと思います。</p>
<p><b>アクションプラン5 賢く、快適な低炭素型都市構造への転換</b></p> <p style="text-align: center;">《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》</p> <p>■ 燃料電池車の水素ステーションを維持するだけでも大変だと思います。</p>
<p><b>アクションプラン6 持続可能な循環型社会の構築</b></p> <p style="text-align: center;">《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》</p> <p>■ プラスチック製容器分別回収は、すでに全市で取り組んでいるはずだが、家庭によってはプラスチックごみを通常のごみと一緒に出している。もっと広報して、意味を伝えるべきだと思います。</p>

### 3 Act（改善）の方向性

- 本報告書では、重点プロジェクトである「6つのアクションプラン（緩和策）」と「適応策」に関する平成29年度の施策及び取り組みの実施状況等を取りまとめている。6つのアクションプラン（緩和策）において、数多くの施策や取り組みが実施されているが、いくつかの項目では未実施や取り組みが進んでいない項目もある。また、6つのアクションプラン（緩和策）に取り組んでも温暖化の影響が避けられない場合に被害を少なくするための対策である適応策については、平成30年度に予定をしている洪水ハザードマップの見直しなど、更に取り組んでいく必要がある。これらの取り組みについて、それぞれの状況や課題等の解決に向け、地域の特性や実情を踏まえることで、より実効性を持たせ、温室効果ガス削減への取り組み強化を図る。

また、本報告書の情報提供方法についても検討し、取り組み状況や実施方法などがより多くの人へ更に周知されるよう、市民、事業者等への情報提供、共有についても推進していく。

## 【資料（1）】甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会の委員名簿

（委嘱期間：平成30年12月26日～平成32年12月25日）

代表区分	氏名	所属
学識経験者	〈委員長〉 鈴木嘉彦	山梨大学名誉教授
	〈副委員長〉 箕浦一哉	公立大学法人山梨県立大学教授
	内藤卓也	山梨県エネルギー局エネルギー政策課長
地域関係者	萩原爲仁	甲府市農業協同組合 代表理事専務
	角田義一	中央森林組合 代表理事組合長
	高根明雄	協同組合同母工業団地工業会 専務理事
	河西光雄	甲府商工会議所 環境問題委員会 副委員長
	望月真	山梨交通(株) 総務部 部長
エネルギー供給者	小林登	東京電力パワーグリッド(株)山梨総支社 甲府事務所長
	平原真実	東京ガス山梨(株) 常務取締役
教育関係者	中国昭彦	甲府市公立小中学校長会 羽黒小学校長
市民団体	梅原隆子	生活協同組合パルシステム山梨 理事長
	芦澤公子	特定非営利活動法人みどりの学校 理事長
	石井迪男	甲府市地球温暖化対策地域協議会 副会長
	鳥屋尾健	山梨県地球温暖化防止活動推進センター 事務局長 (公益財団法人キープ協会)
	志沢美香	やまなし木質バイオマス協議会 事務局
市民代表	佐野善臣	甲府市自治会連合会 副会長

【資料（2）】

平成28年度からの重点プロジェクト（6つのアクションプランと適応策）

重点プロジェクト			
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり・地域づくり（サステイナブルな社会の創造）・日々の暮らし（スマートライフ）</p>	<p><b>アクションプラン1</b></p> <p><b>環境教育・温暖化防止の啓発活動の推進</b>                      《人づくり・地域づくり・協働の推進》                      （環境教育・生涯学習・協働）</p>	<p>1. 環境教育の推進</p> <p>2. 多様な担い手による地域の温暖化防止活動の推進                      （産学官民協働の推進）</p>	<p>緩和策（6つのアクションプラン）</p>
	<p><b>アクションプラン2</b></p> <p><b>再生可能エネルギーの導入・普及促進</b>                      《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》                      （再生可能エネルギーの導入）</p>	<p>1. 太陽エネルギーの活用</p> <p>2. バイオマスエネルギーの活用</p> <p>3. 地中熱・小水力等再生可能エネルギーの活用</p>	
	<p><b>アクションプラン3</b></p> <p><b>潤いある森林の整備</b>                      《森林整備》                      （森林の整備）</p>	<p>1. 潤いと光あふれる森づくり                      （森林整備）</p>	
	<p><b>アクションプラン4</b></p> <p><b>地球にやさしいライフスタイルと省エネ行動</b>                      《環境に配慮したライフスタイルと低炭素型の移動への転換》                      （ライフスタイルの転換）</p>	<p>1. 省エネ行動の普及促進</p> <p>2. 低炭素型の移動（スマートムーブ）の推進</p>	
	<p><b>アクションプラン5</b></p> <p><b>賢く、快適な低炭素型都市構造への転換</b>                      《環境に配慮した持続可能な都市への転換・都市緑化》                      （低炭素な都市への転換・緑化の推進）</p>	<p>1. 建物・機器による省エネの推進</p> <p>2. 緑あふれるまちづくり                      （都市緑化・ヒートアイランド対策の推進）</p> <p>3. クリーンエネルギー自動車等の普及促進</p>	
	<p><b>アクションプラン6</b></p> <p><b>持続可能な循環型社会の構築</b>                      《廃棄物の再資源化と環境負荷の低減》                      （持続可能な社会の形成）</p>	<p>1. 廃棄物の3R（Reduce・Reuse・Recycle）の推進</p>	
	<p><b>地球温暖化への適応策</b></p>	<p>1. 健康被害の予防</p> <p>2. 自然（水）災害</p> <p>3. 水環境・水資源</p> <p>4. 食料</p> <p>5. 自然生態系</p>	

※サステイナブルな社会『持続可能な社会』

甲府市地球温暖化対策実行計画  
平成 29 年度年次報告書

編集・発行/甲府市環境部環境総室環境保全課

〒400-0831 山梨県甲府市上町 601-4  
TEL055-241-4312 FAX055-241-6190

甲府市ホームページ

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp>

甲府市温暖化対策情報サイト「こうふの eco」

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/smartcity/index.html>